

令和5年度

かいごTERAKOYA事業

アンケート結果

施設	・・・1ページ
学生	・・・7ページ
保護者	・・・11ページ
児童	・・・17ページ

(参考)

かいごTERAKOYA事業に参加した学生の介護に対するイメージ

【施設アンケートの総括】

この事業を利用して「よかった」という回答が**85.7%**であった。

学生が来たことで、施設では利用者さんの表情が明るくなったり職員の業務にゆとりができた。

保護者は安心して預けられと喜びの声があったり、感謝の言葉も多く寄せられた。

来年も本事業を利用したいかという施設が**85.7%**であった。

学生の勤務態度については、「よかった」が5施設、「どちらとも言えない」が1施設、「よくなかった」が2施設という結果であった。その2施設の理由としては、疲れた表情や発言があったり、児童から勉強を教えてもらえないという声があがったためである。

学生の配置人数については「ちょうどよい」と「少ない」が同数であった。本事業の担当者を見回り程度に配置している施設にとっては学生の人数が少ないという認識だったが、常時配置している施設にとっては適正という認識を持たれている。

「学生が介護職を意識する良い機会になったか」という問いに対しては、「大変そう思う」と「そう思う」と回答した施設が半数以上であった。

児童がいることによるご利用者の変化については、**全てプラス要素**であった。

「表情が豊かになった」が6施設、「会話が增えた」が1施設という結果であった。

児童がいることによる職員の変化については、**5施設がプラス要素**、1施設がマイナス要素、残りの1施設は無回答であった。プラス要素は明るくなった、意欲向上であった。

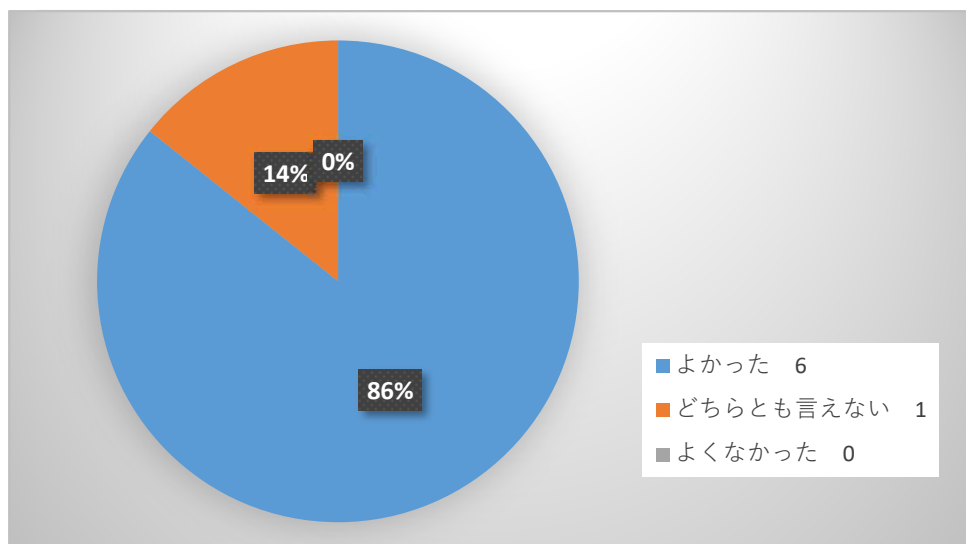
この事業の利用数については、特に地域の児童の受け入れについて施設差があった。

職員の勤務時間および勤務調整の変化については、昨年も本事業に参加していた施設が多く「変わらない」と回答した施設が大半だった。

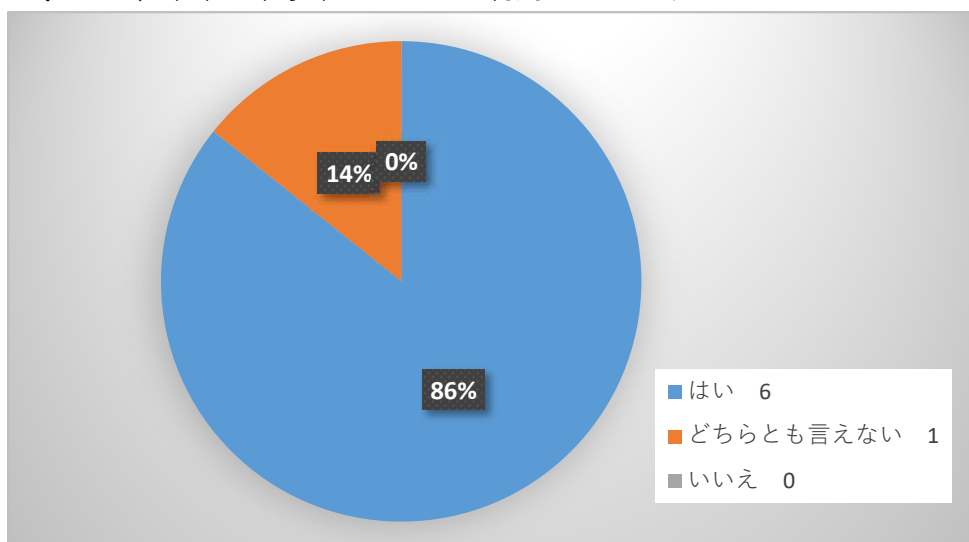
今後、この事業を継続することによって、受け入れ施設の介護職員に浸透し、施設側の労働環境の改善に繋がることが期待できる。

また、児童や学生と接することで、ご利用者さんにとって良い刺激になること、職員にとってモチベーションUPに繋がることが証明された。

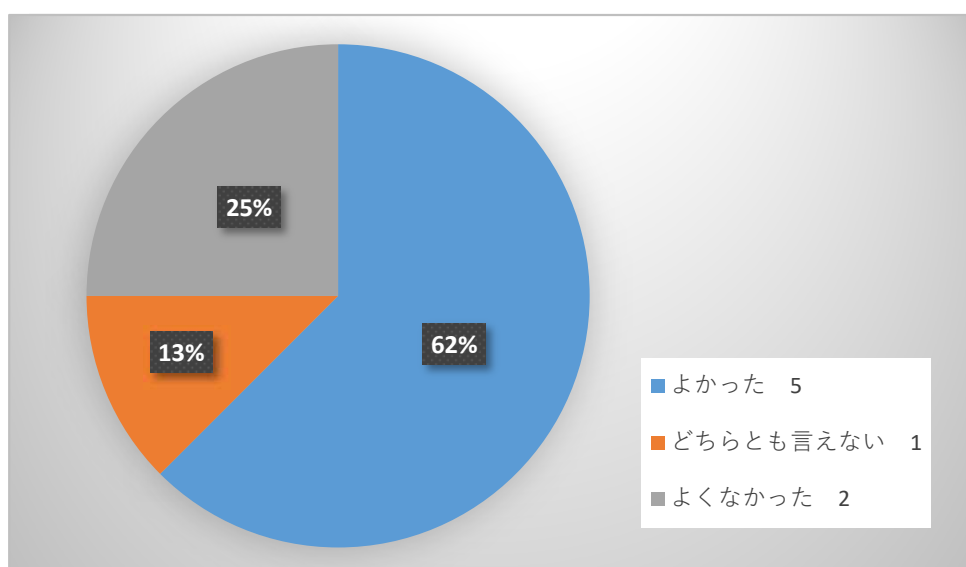
1. 本事業を利用されていかがでしたか？



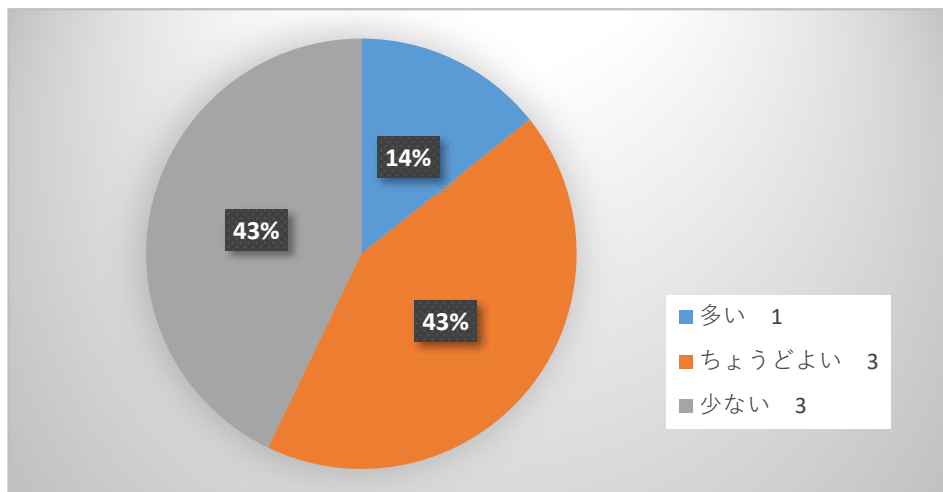
2. もし、来年も本事業があったら利用したいですか？



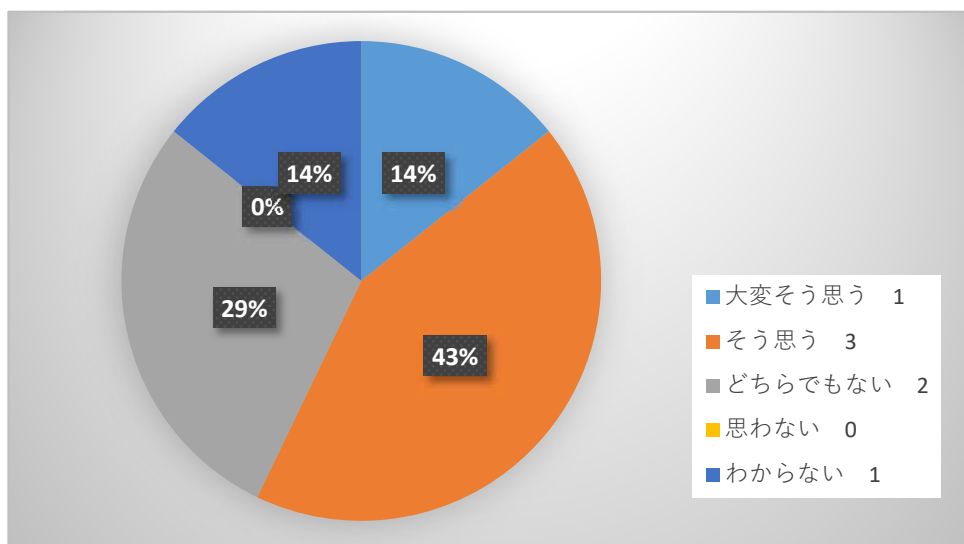
3. 学生アルバイトの勤務態度等はいかがでしたか？



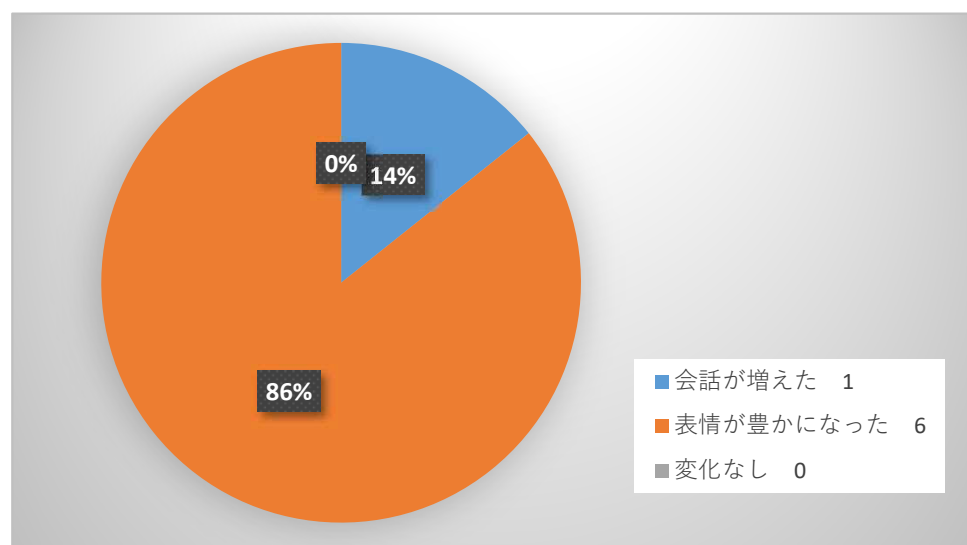
3-3. 学生の配置人数はいかがでしたか？



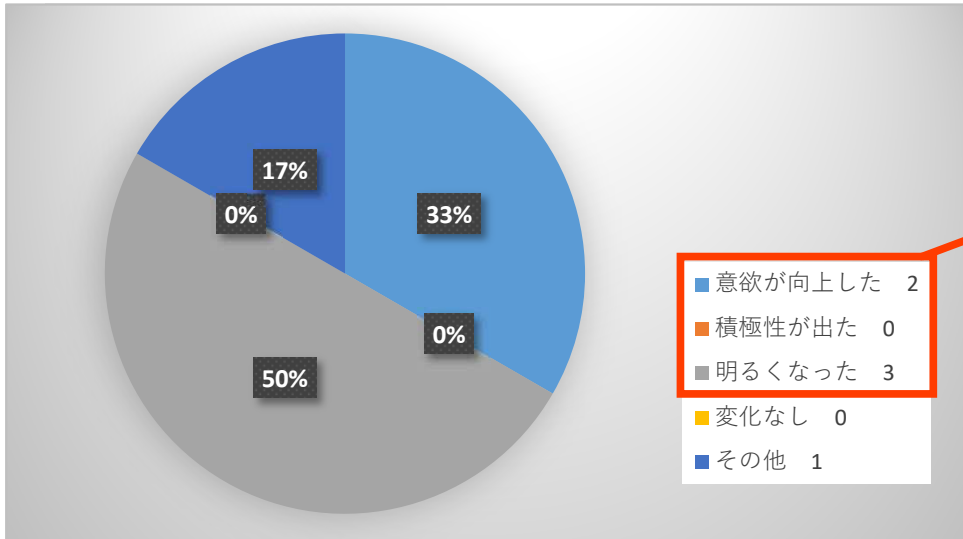
3-5. 今後学生が介護職を意識する良い機会となったと思うか？



4. 小学生がいることにより貴施設の**利用者様**に変化はありましたか？

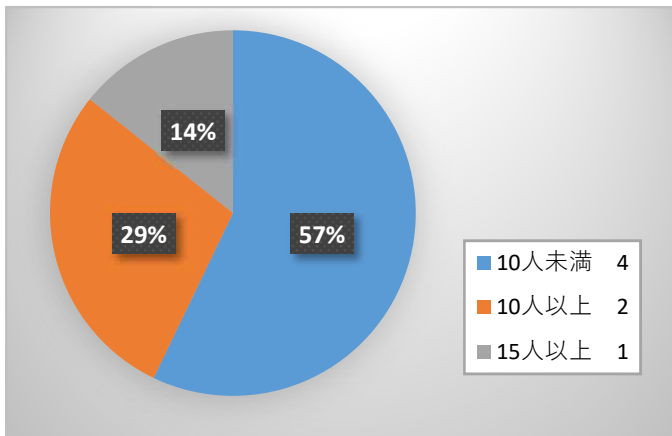


4. 小学生がいることにより貴施設の職員さんに変化はありましたか？



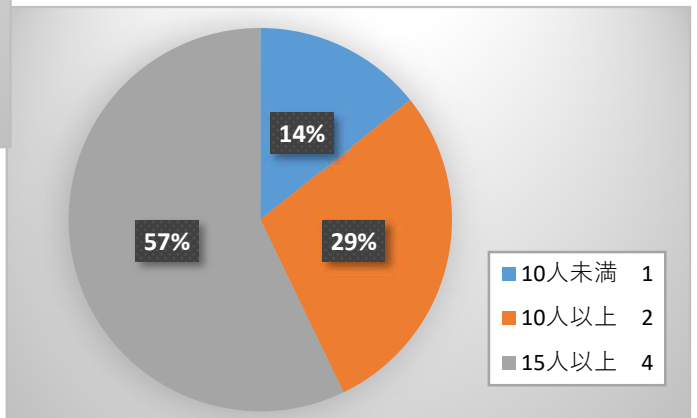
職員についても好影響があった

5-1. 本事業を利用した職員数は？ 69人の職員が利用 (R4:53人)



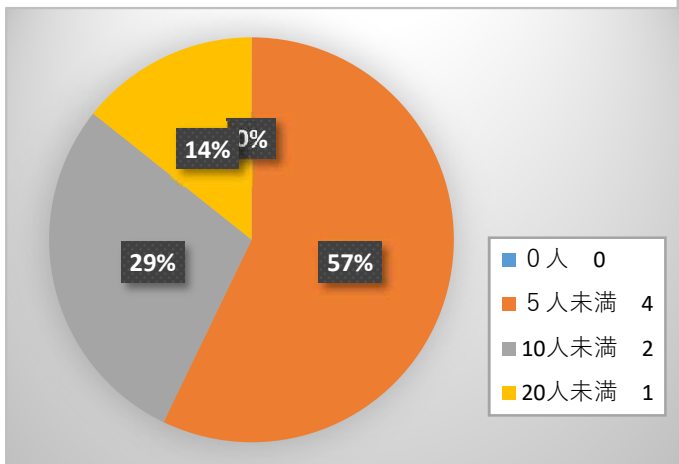
100人の職員の子どもが利用 (R4:75人)

5-1. 本事業を利用した職員の子どもの数は？



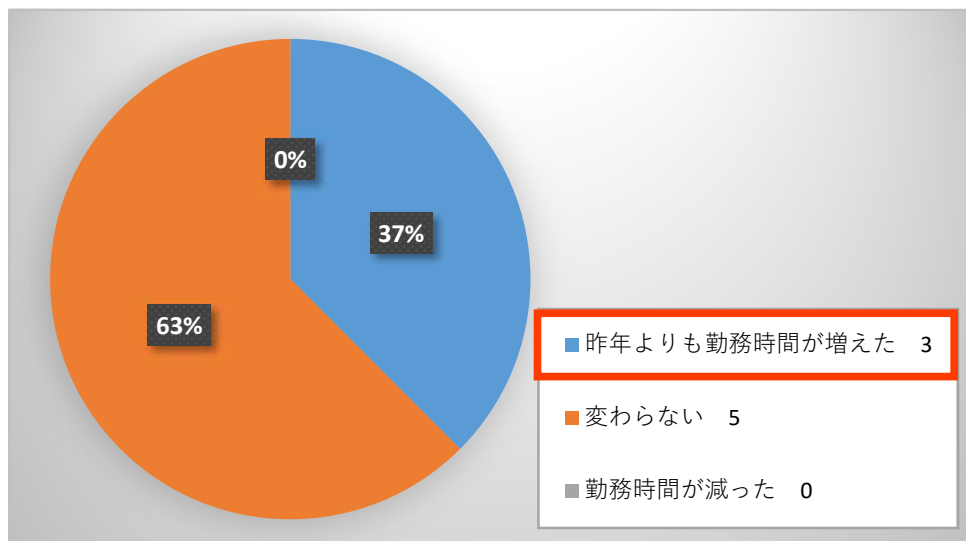
40人の近隣の子どもが利用 (R4:20人)

5-1. 本事業を利用した近隣の児童数は？



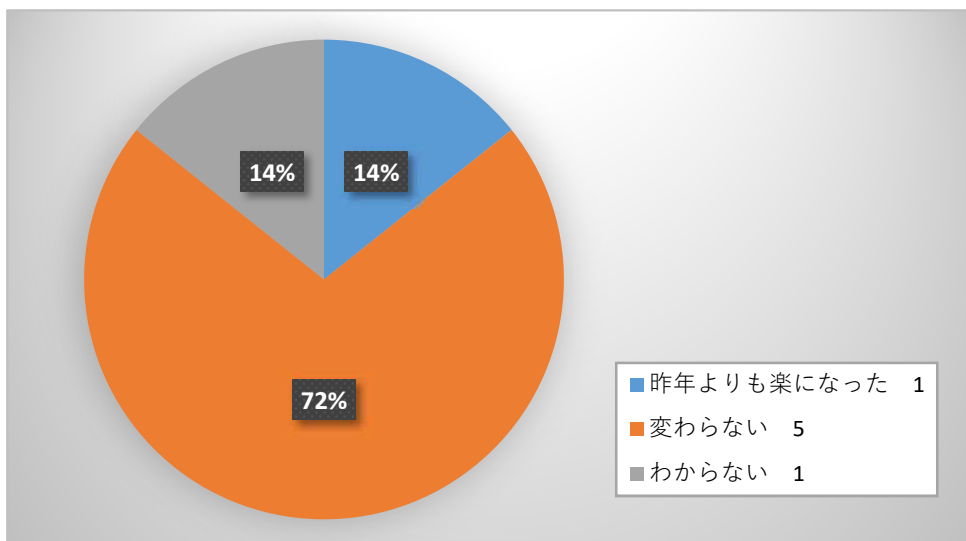
5-2. アンケート参照

5-3. 本事業を利用した職員の勤務時間に変化はありましたか？



5-4. アンケート参照

5-5. 本事業を利用したことで勤務調整（シフト作成）に変化はありましたか？



【学生アンケートの総括】

この事業で働いてよかったか？という問いに対して、99%（74人）の学生がよかったと回答し、次の機会にも働きたいか？という問いにも95%（72人）の学生が働きたいという回答だった。

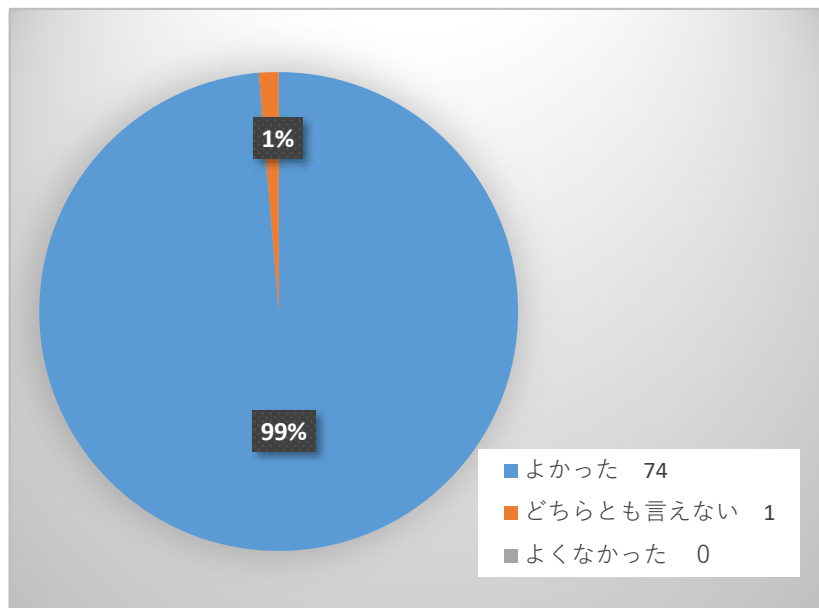
ただ、働いてみて児童への対応が難しいという感想をもった学生が半数以上おり、その内容の多くは見守っている児童の動きが活発になり過ぎた際、制御することができない、どう注意すべきか迷うといった内容が多かった。その難しさについて、対面での研修とオンラインでの研修を受けた学生に差が出たため、今後は対面の参加者を増やせるように開催日等を検討していきたい。

介護施設や介護職のイメージについて、本事業参加前と参加後と比較した結果、**91%の学生がプラスに変化**していた。これは大きな成果であり、この事業を継続することによって介護職を目指す学生が増えることが大いに期待できる。介護職を目指さない学生においても、プラスに変化したことで興味・関心を持つきっかけにはなった。

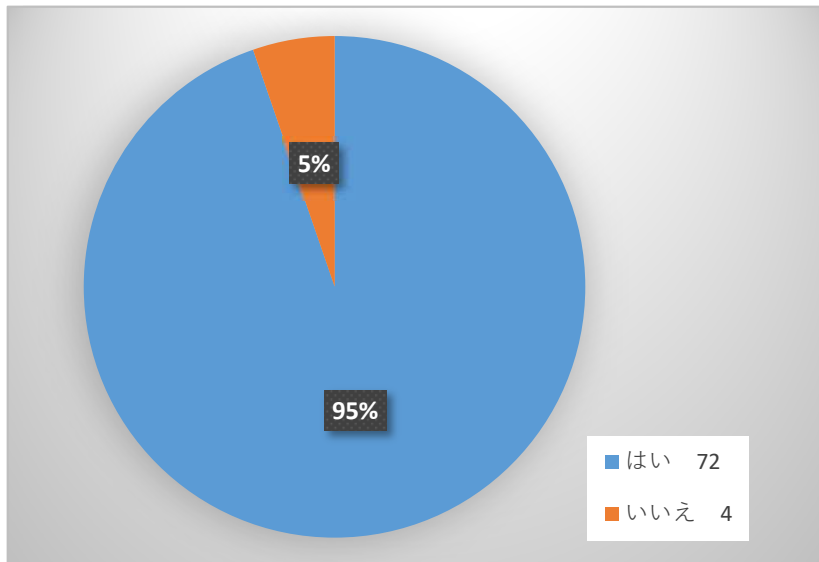
介護業界が若者の就職希望が高くない原因については、「大変そう」と推察した学生が半数近くで最も票が多かった。この「大変そう」等のマイナスイメージが、少なくとも本事業に参加した約90%の学生は払拭できたため、この問いからも体験することでの効果が証明されたこととなる。

将来希望している職業の票数は、1位が保育士や幼稚園教諭（14票）、2位が看護師（11票）、3位が介護士（8票）という結果となった。この事業に参加する学生は高齢者や子どもに興味を持っている者が多いという特徴はあると思うが、実際にこの事業を通してリアルな職業体験となったという声も挙がり、就職する前の貴重な体験となった。

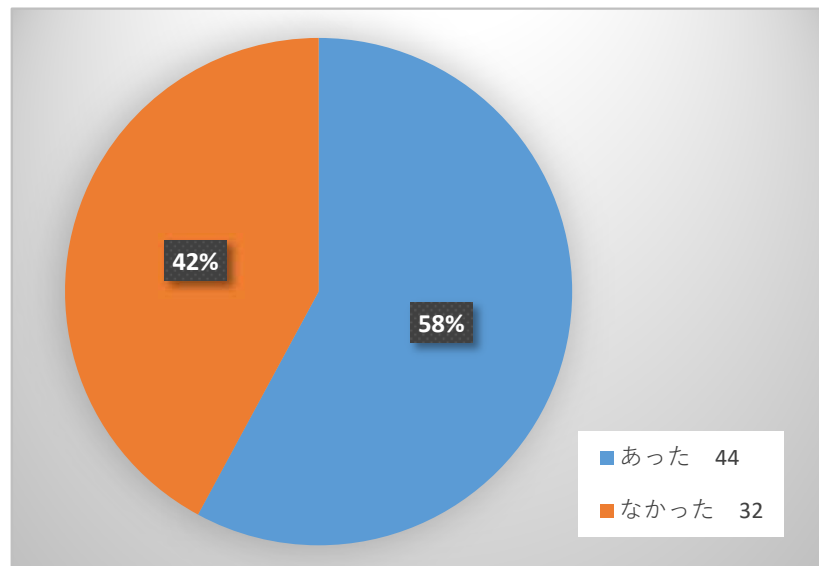
1. 今回のアルバイトをしてよかったですか？



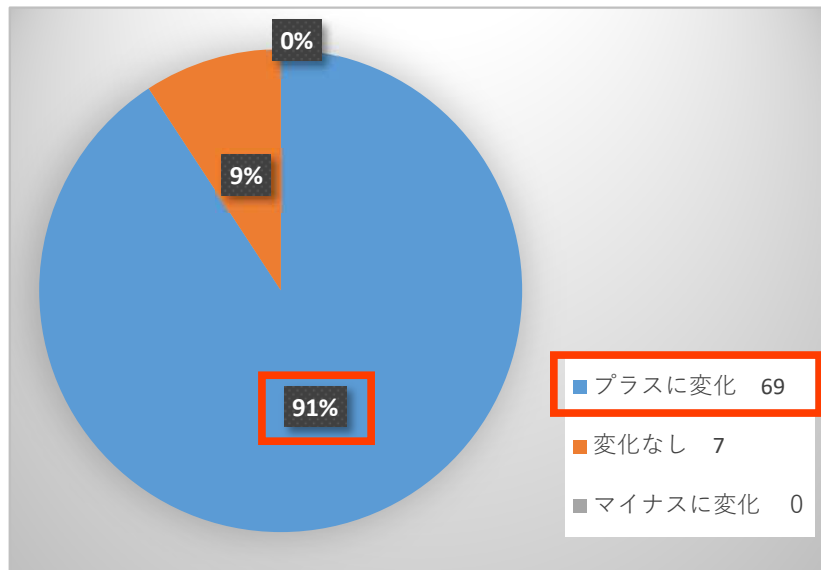
2. もし、今年の冬休みや来年の春休み等にこのTERAKOYA事業があれば働きたいですか？



3. 小学生の見守りや学習支援をされ、難しいと感じた点がありましたか？

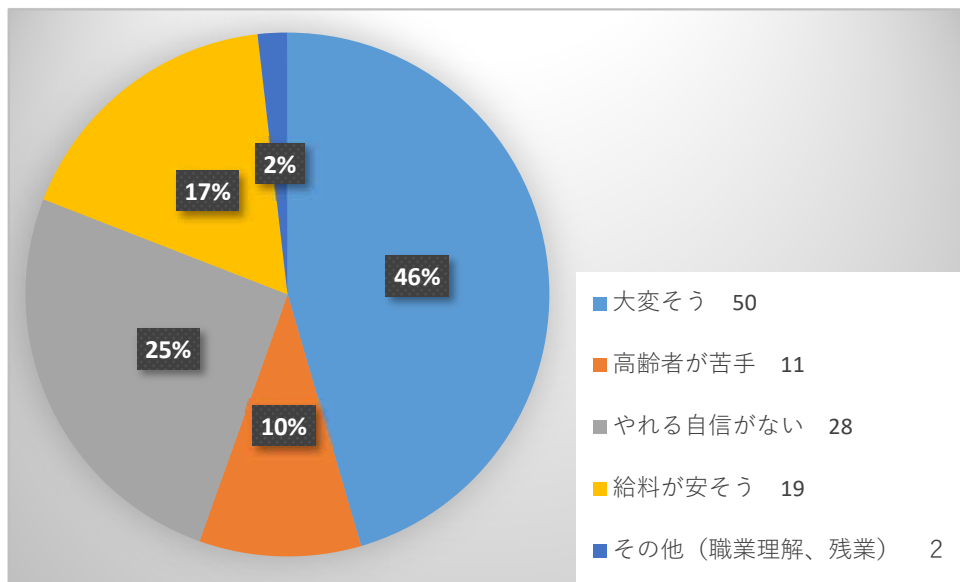


4. 介護施設や介護職に対するイメージについて【事業参加前と参加後の比較】

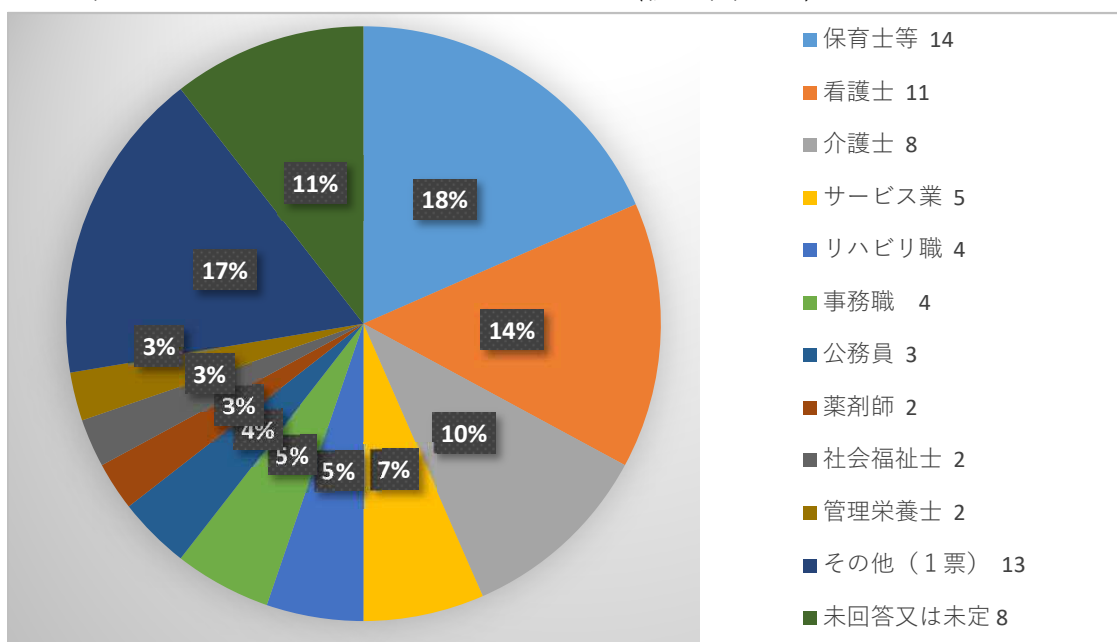


事業に参加することで
約9割の学生がプラスに
意識変化

5. 介護業界は若い人達の就職希望が高い職業とは言えません。その原因は？(複数回答可)



6. 将来希望している職業は何ですか？ (複数回答可)



【保護者アンケートの総括】

この事業を利用してよかったと思い、**また利用したい**という回答が100%に近い結果となった。「安心して仕事ができる。」「新たにお友達ができて嬉しかった。」「子どもを安心して預けられた。」「学童に入れず不安を抱えていたが、この事業があってとてもありがたかった。」等の意見が寄せられた。

学生たちの児童との接し方についても80%以上の保護者に**満足**をいただくことができた。「勉強などを優しく教えてもらえた」「とてもよく関わってくれた」「宿題が進んだ」等プラスな意見が多かったが、学生によって関わり方に差があるといった厳しい意見も少数あった。

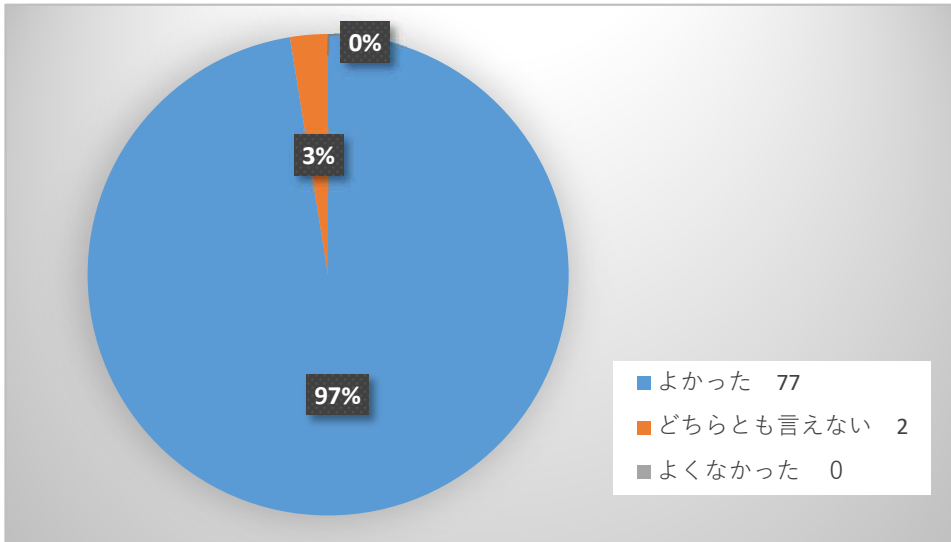
児童から高齢者や介護に関する感想が親にあったかという問いについては、半数以上があり「楽しかった」「介護施設はこんな所だったよ」「おじいちゃんはオセロが強かった」等初めて見る設備や普段関りの少ない高齢者との触れ合いなど、児童にとっても良い機会となった。

地域の児童を預けた親の介護施設や介護職に対するイメージ変化は、「とても親しみやすい」「とても温かくアットホームな感じがした」「介護職に就こうと現実的に考えるようになった」等の声があり、地域の児童を預かることによるメリットも感じる事ができた。

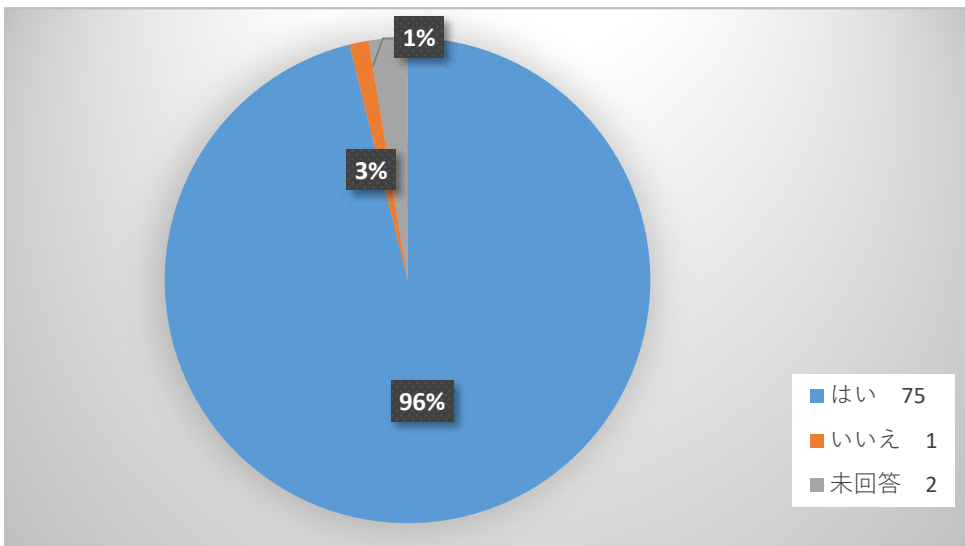
児童の預かり場所についての希望は、職場付近が約50%と最も多く、次は自宅付近で30%であった。

受け入れ施設の職員（=保護者）にとっては預けやすく安心して働けることが再認識できるアンケートとなった。

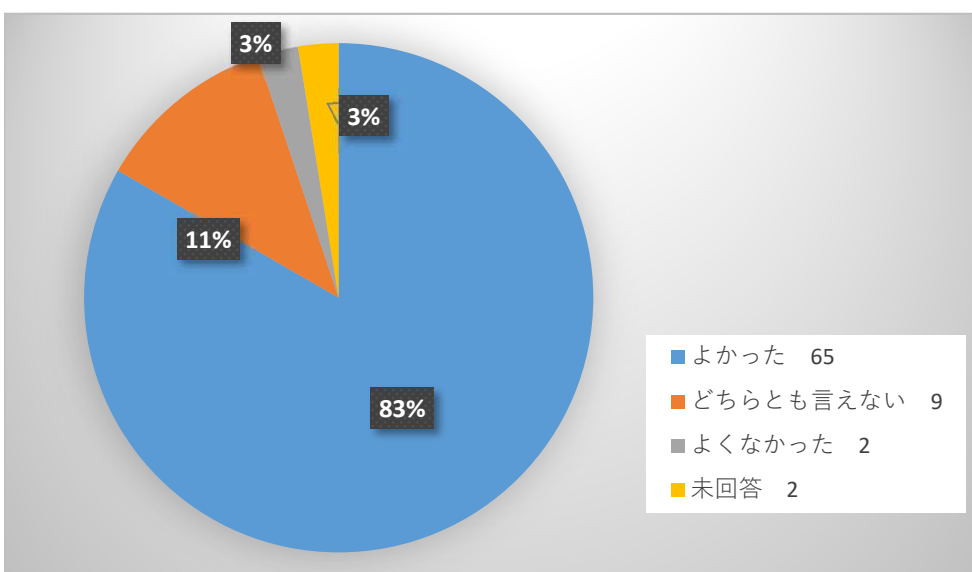
1. この事業を利用してよかったですか？



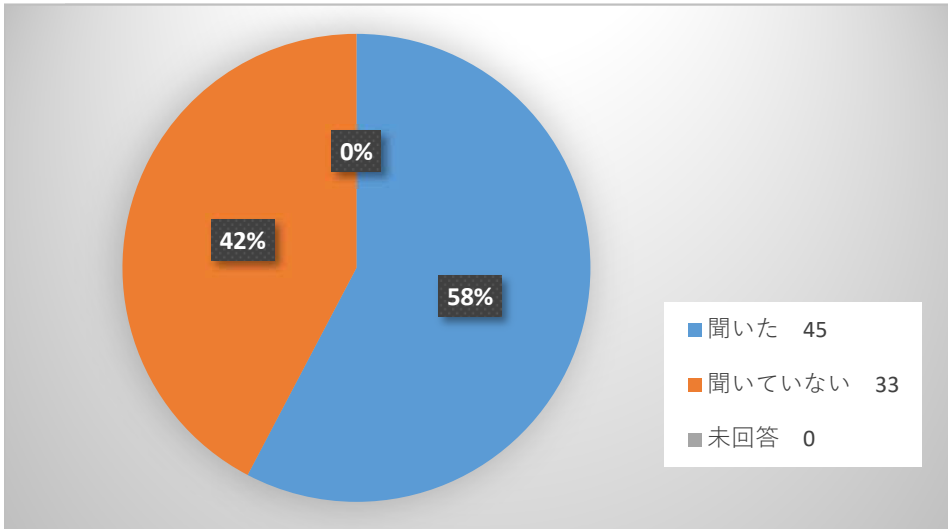
2. もし、来年もこのTERAKOYA事業があったら利用してみたいですか？



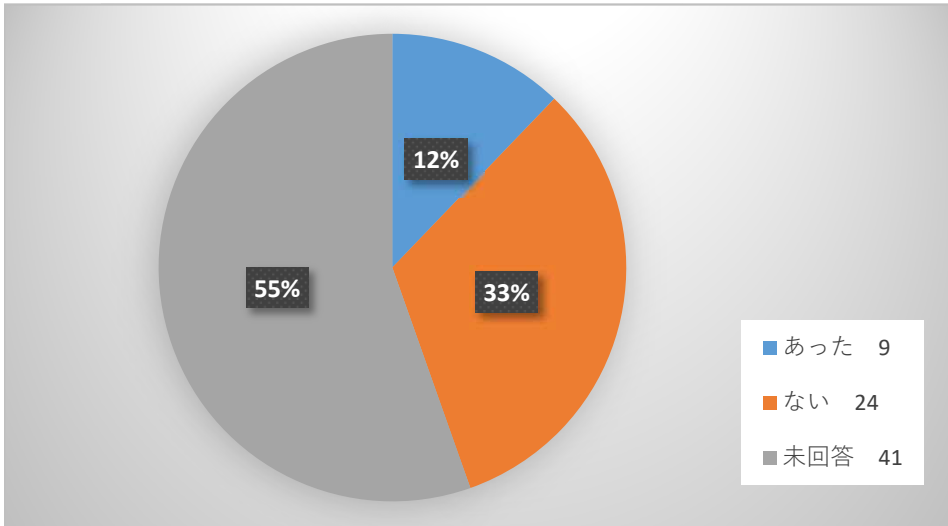
3. 学生たちがお子様の勉強等の面倒を見てくれましたが、いかがでしたか？



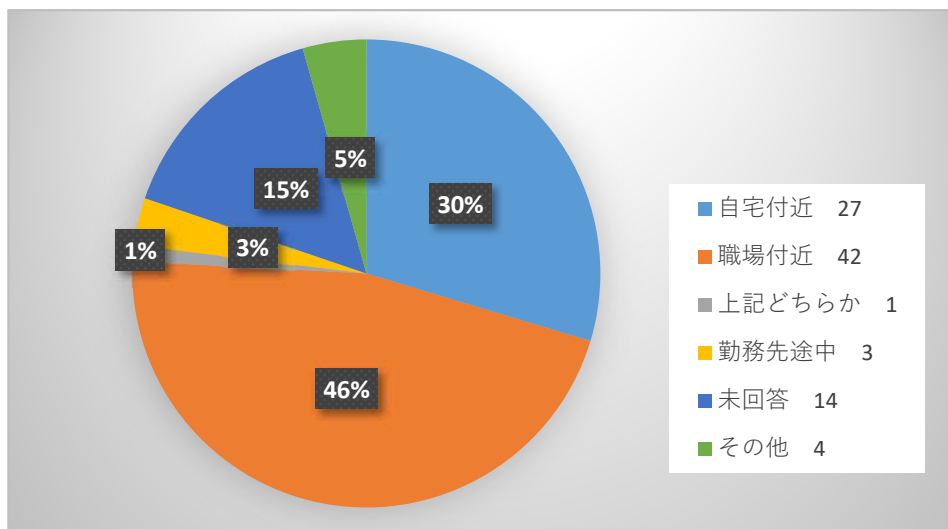
4. お子様から高齢者や介護についての感想を聞きましたか？

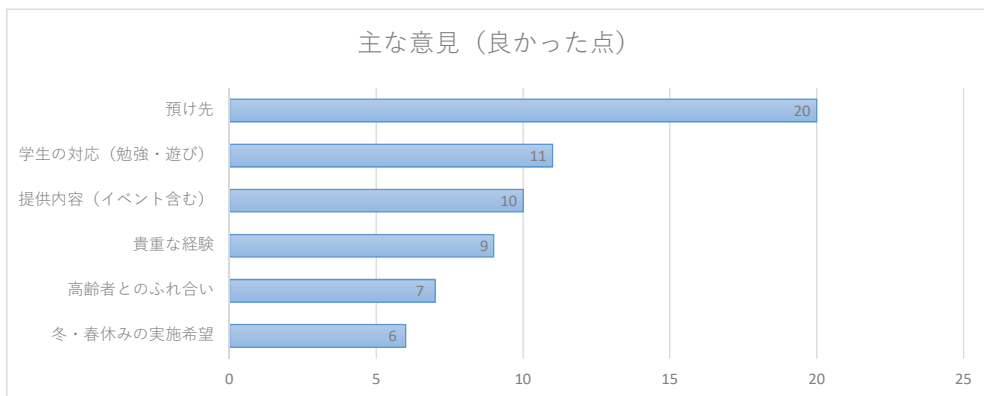


5. この事業の利用前後で介護施設や介護職へのイメージに変化はありましたか？



6. お子様の預かり場所がどのエリアにあれば働きやすいですか？





毎回、楽しく参加させていただき、大変嬉しく思っています。

ただ遊ぶだけでなく、ちゃんと勉強の時間もあり、メリハリのある且つ他小学校、他学年の友達と過ごす貴重な経験ができありがたく思っています。春休みや冬休みなどもぜひ開催していただけると嬉しく思います。

- ・家に帰ってくると楽しかった話を毎回聞かせてくれた。
- ・勉強の時間もしっかりあり、夏休みの宿題もはかどった。
- ・冬、春休みも開催してほしい。

数年後には子どもが高校生アルバイトとして、お世話する側にもなって欲しいと思いました。

- ・働く時間が短いため、預かり費用が無料なのは、大変助かりました。
- ・昨年のかいごTERAKOYA事業の実施のニュースを知って、来年は自分たちも利用したいと思い、実際に運よく利用することができて本当に嬉しく、ありがたかったです。

昨年度、お世話になった学生さんが息子の名前を覚えてくれていて、本人はとても嬉しかったと言っていました。

昨年に引き続き、今年も参加させていただきました。

職員さん、利用者様、学生に見守られながら安心して預けることができたことに感謝しております。
実際に現場で働く職員さんを見て「介護」について興味湧いたようで「働きたい」「やってみたい」と話してくれました。
また来年もかいごTERAKOYAの開催を願っています。

今回は無料で預かっていただきましたが、学童くらいの費用がかかってもよいので継続していただきたいです。

子どもとともに健康に過ごせて、普段あまり接することの少ない高校生や高齢者の方と触れ合うことができ、新鮮で刺激になりました。

周りの他の施設で働いている方からも「良い事業だね。」「うちの施設でもあればいいのに。」という声がありました。色々な施設で広がってほしいと思いました。

子ども1度も嫌がることなく、毎日「楽しかったよ。」と言って、普段はできない多世代交流もでき、安心して利用することができました。
来年も、冬休みもお願いしたいです。

色々な学校、学年の子と触れ合うことができ、良い刺激をもらうことができました。

昨年も今年もやってもらえてとても助かっています。
これからもぜひ続けてほしい。

子どもを預けることに不安はあったが、たくさん遊んでもらったようでとても楽しく過ごせたようです。
夏休みのよい体験をさせていただきました。ありがとうございました。

フルタイムで働いているので、1日預かってほしい。

- ・今年には高齢者との関わりを持てる時間があって良かった。子どもも楽しかったと色々話してくれた。
- ・高齢者との関わり以外(職員についてどんな仕事をしているか見学、体験)の機会があると将来への視野が広がり良いと思う。
- ・子どもが男児だととてもパワフルなので男子学生さんもっと来て下さると遊び相手になって下さり、親も安心できる。

- ・昨年も利用させて頂き、仕事を休むことなく働けてとても助かりました。
- ・お盆も預かりがあり、安心して働くことができました。
- ・冬休みも預かりがあるようならぜひ利用できることを楽しみにしております。

通える距離に施設があったこと、お屋のおやつもあること、良心的な金額で子どもも楽しく通えたこと、スタッフの皆さんも会えばあいさつをしてくれたりと全てが想像よりも良くてびっくりでした。
もっとこういう事業が増えてくれると助かります。また来年もぜひ実施して頂きたいです。ありがとうございました!!!

<p>高校生のアルバイトの方々も優しく、いつもの夏休みとは違う環境でありながら貴重な時間を体験できました。ぜひ今後も実施いただけたらと思います。</p>
<p>2年目の参加になります。 学生さん達も優しく接して下さったようで何より子どもが喜んでいます。 利用者様とも交流させてもらえたことが小さいながらもいろいろと感じる事があったようです。 <u>来年度も事業実施となりましたら、ぜひ参加させて頂きたいです。</u> 今年度もこのような素晴らしい事業に参加させて頂きありがとうございました。安心して働くことができました。</p>
<p>福祉施設での事業なので、福祉体験を頻回に企画してくれるとよいです。</p>
<p>子どもが毎日行きたいと言うので、間違いなく子どもにとって面白いし、様々な学びがある場所だと思います。 冬休みの実施も検討してほしい。</p>
<p>・広報はままつでこの取り組みについて知りました。 ・介護のことが身近で感じる事ができるし、学生が勉強を教えてくれることが双方にとってメリットがあると思っています。毎年利用したいと思いました。</p>
<p>宿題も教えてもらえるし、一緒に遊んでくれて子どもがとても喜んでいました。 また次回も実施してほしいです。</p>
<p>病院や企業等、他にもこの夏季期間のかいごTERAKOYA事業のようなことが広がっているとTVや新聞で目にします。今後もこの事業が継続することで子育てしやすい社会になっていくと良いなと思います。 子どもにとっても介護施設への興味や親の働く姿を感じられる良い機会だと思います。</p>
<p>最終日にさみしさのあまり、号泣していたので次年度もぜひ参加したい。 参加希望施設がすべて実施できるように事業としてはしてほしい。次年度に期待してしまうので…</p>
<p><u>介護施設ならではの</u>お年寄りとの触れ合いや介護の仕事を身近で感じる事ができて、とても良い体験ができたように思います。</p>
<p>自分の職場で子どもをみてもらったので、様子を休憩中に観に行けたり、何かあったときにすぐに行けたのでよかったです。 今後も続けてもらえたら嬉しいです。</p>
<p>子どもにとって良い経験となった。職場が預け先で安心だった。</p>
<p>いろんな所に連れていってくれたり、勉強も教えてくれたりとすごく助かりました。なにより子どもがすごく喜んでくれて私も嬉しかったです。</p>
<p>ただただ本当に有りがたかったです。 <u>安心して預けることができたし、例年よりも働くことができ、現場も職員人数の確保ができ、良い事ばかりでした。</u>感謝です。来年もぜひお願いしたいです。</p>
<p>扶養ないで働いているお母さんにとっては本当に助かる事業になっています。もっとたくさんの施設が実施してもらえると働きやすくなると思います。</p>
<p>子どもたちは、<u>普段関わらない方や入れない施設を見たり、感じる事ができてとても貴重な体験となりました。</u> 小学生になり、一緒に過ごす時間が減っていましたが、通勤字に話す機会があり、有意義な時間を過ごすことができたと感じました。 ありがとうございました。</p>
<p>実家に預けていたが、子どもがそれを嫌がっていて悩んでいるところにTERAKOYA事業が始まり、本当に助かりました。 家にいる時よりも宿題に集中でき、仲の良い友達もできて楽しそうでした。 今後もぜひ続けていただきたいと思います。できれば冬休みも実施していただけると嬉しいです。ありがとうございました。</p>

■ 傾向

- ・ 高齢者との触れ合いの機会に対する評価が昨年度よりも多い。
- ・ 夏季期間の介護現場における介護職員の従事者の確保につながっている。
- ・ 子どもにとっても刺激のある貴重な経験となっている。

■ 課題

- ・ 「子どもを預かる」ことが先行している状態にある。
- ・ 介護保険課として事業を運営していく意味を考える必要がある。
- ・ 福祉体験の機会を設けることが必要（施設選定の評価基準に追加）
- ・ 子どもを預かる際のルールの取り決め（施設によって違いが生じている。）

【児童アンケートの総括】

この事業に参加して楽しめた児童が80%であった。

また、69%の児童が、自宅でやる時（普段）よりも**勉強がはかどった**という回答を得られた。

高齢者との交流については、時間が短かったり触れ合えなかった児童もいたが、「楽しかった」という回答が最も多く、高齢者に対する苦手意識の払拭に成功したと思われる。

親の職場で過ごした感想としては、「**嬉しかった**」という回答が最も多く、親の働く場所に初めて来たという児童が殆どであった。

介護職のイメージについては、「大変そう」という回答が59%と最も多かったが、「やってみたい」「おもしろそう」というプラスイメージの回答をした児童は25人だった。

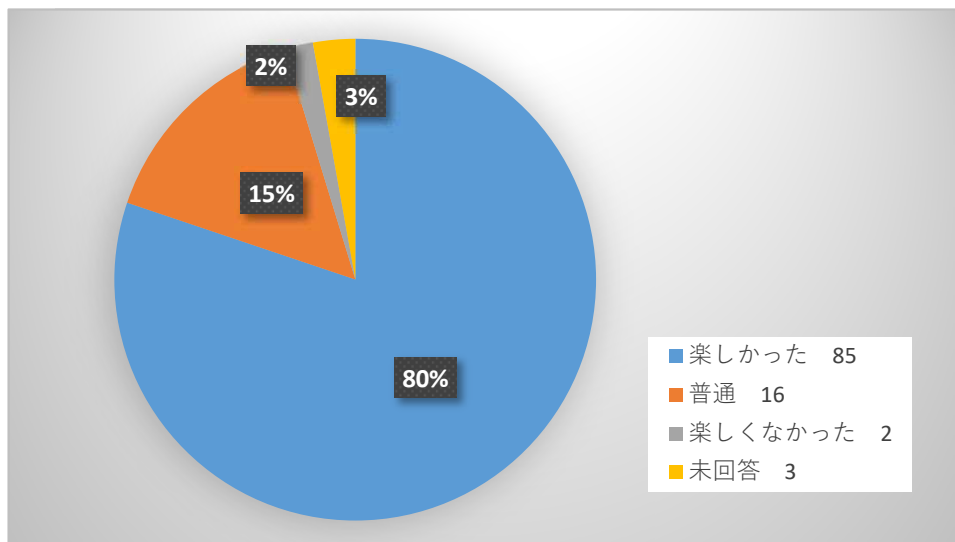
将来の夢については、1位がスポーツ選手、2位がケーキ屋等の飲食店に続き、介護士は3位の回答数であった。

核家族の割合が増加し続けている現代において、児童が高齢者と接する機会は確実に減っておりこの事業を継続していくことによって貴重な異世代交流が実現できる。

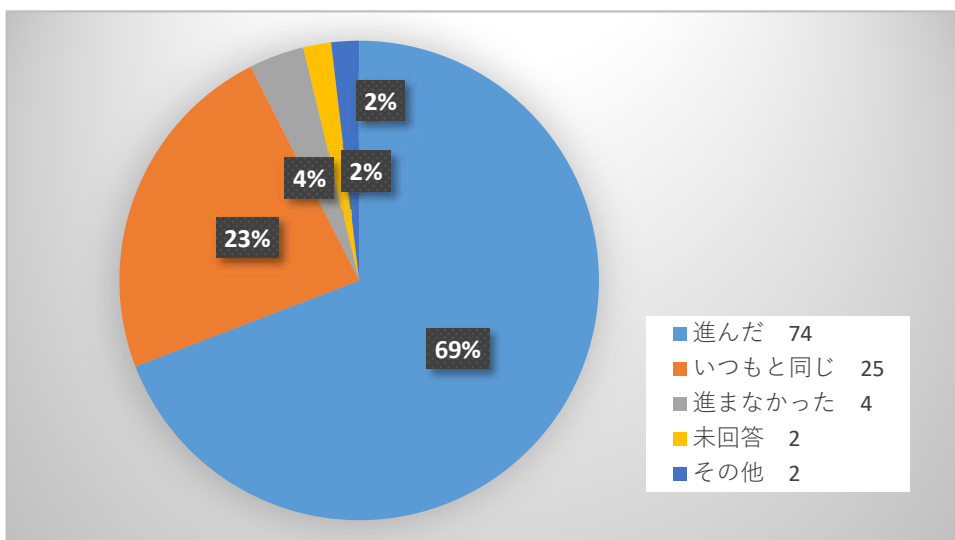
その他の効果としては、児童にとって高齢者への抵抗がなくなり、介護の世界を感じ、介護職を意識するきっかけ作りになることが期待できる。

ただし、介護職が大変そうだと感じる児童が多いことが浮き彫りとなったため、今後はプラス面のPRをどうすべきかの検討が必要である。

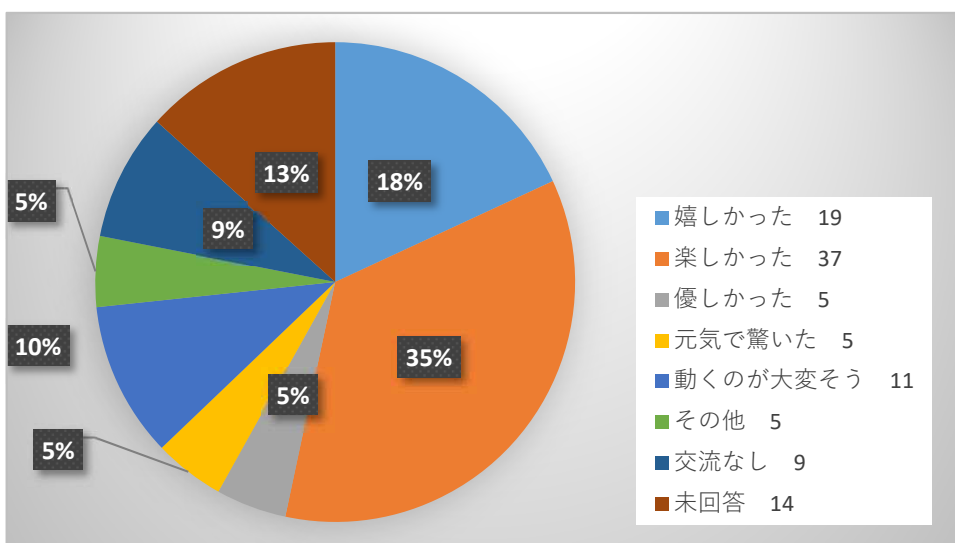
1. ここの施設に来て楽しかったですか？



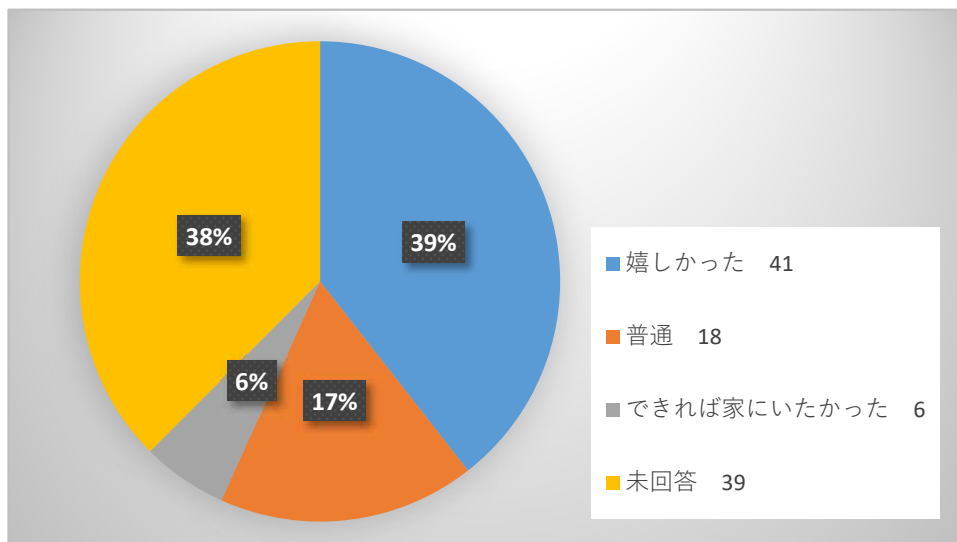
2. お兄さん（お姉さん）達に勉強を教えてもらい、いつもより捗りましたか？



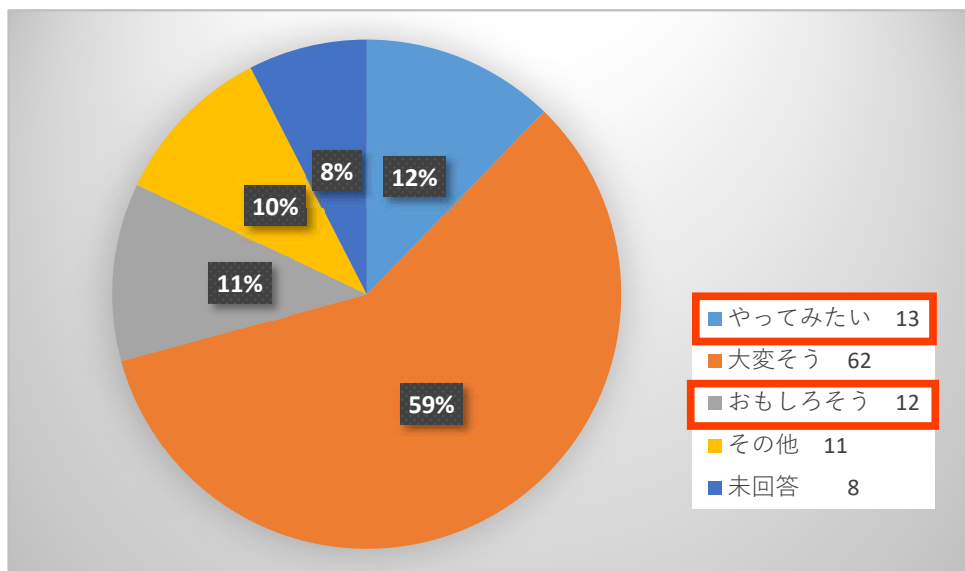
3. おじいちゃんやおばあちゃんと触れ合っ感じたことを教えてください。



4. お父さんやお母さんが働いているのを見て、どうでしたか？



5. 介護のお仕事を見てどう思いましたか？



6. 将来の夢を教えてください。

